

Ⅲ 基本計画 第一章

- 1 SWOT分析を活用した重点プロジェクトの検討
- 2 重点プロジェクト
- 3 施策体系
- 4 計画体系



SWOT分析を活用した重点プロジェクトの検討

これまで本市が実施してきた「市民意識調査」の結果と、昨今の社会的要因も考慮し、本市の内部環境「強み」「弱み」、本市を取り巻く外部環境「機会」「脅威」を洗い出し、これらをクロス分析することで、「成長させるべきもの」、「やり方を変えて行うべきもの」を見つけ出し、本計画で取り組むべき重点プロジェクトを検討します。

クロス分析の概要

	内部環境	外部環境
機会(追い風) Opportunity	本市の強み Strength ①成長戦略 「強み」によって「機会」をさらに活かす方策 強み×機会 ⇒成長する機会を逃さない(積極推進)	本市の弱み Weakness ③改善戦略 「機会」を逃さぬよう「弱み」を改善する方策 弱み×機会 ⇒これまでの手法を変えて改善を図る(弱点強化)
脅威(逆風) Threat	②差別化戦略 「強み」によって「脅威」に対抗する方策 強み×脅威 ⇒強みで逆風を味方にする(差別化)	④回避戦略 「弱み」と「脅威」が重なる最悪の事態を回避する方策 弱み×脅威 ⇒抜本的な発想の転換で問題を回避する(問題回避)

本市の内部環境と外部環境の考察

	内部環境	外部環境
本市の強み	<ul style="list-style-type: none"> 海に恵まれた水産資源と水産加工企業の集積立地 春国岱・歯舞温泉等に代表される自然環境 歴史が支える高い知名度 文化・歴史遺産が多いまち 個性(特色)のあるまちと意識する市民が多い 野鳥観察など希少野生動物の宝庫 	本市の弱み <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化の進行 若者の流出による労働力不足 地震や津波等災害に対する生活不安 国際漁業規制に影響される生産環境 娯楽施設等若者の居場所の不足 第1子を分娩できない医療環境の不安
社会的な機会	<ul style="list-style-type: none"> 防災・減災対策の意識の向上 子どもの権利・意見の普及促進 外国人住民の増加 カーボンニュートラル・温室効果ガス削減への挑戦 エコツーリズムや体験観光など観光ニーズの多様化による産業観光の活性化 ふるさと回帰、ライフスタイルの多様化、テレワークの普及等による地方でのワーケーションや二拠点生活の増加 	社会的な脅威 <ul style="list-style-type: none"> 人口減少による地方都市消滅の可能性 地球温暖化等による環境破壊 人口の都市一極集中による若者の流出拡大 医療関係者等専門職人材の不足 日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震の発生による大規模災害 気候変動による一次産業への影響

クロス分析から見える重点プロジェクト政策展開

	内部環境	外部環境
機会(追い風) Opportunity	本市の強み Strength <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活かした経済活性化(水産業・農業・観光等) 自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進の両立 外国人人材・交流人口の拡大による地域活性化 子どもの権利擁護と「こども家庭センター」の設置 防災・減災の知識普及と災害ボランティアの育成 	本市の弱み Weakness <ul style="list-style-type: none"> 若年就業者の定着支援 災害備蓄品の家庭・地域内備蓄の実践 外国人住民との共生社会の形成・若者の居場所創出 女性の就業場所確保による人口減対策 子どもを産み育てたいと思える社会構築
脅威(逆風) Threat	<ul style="list-style-type: none"> 若者意見の表出と取入 文化・歴史遺産の積極的活用による地域活性化 大規模災害からの避難の徹底 まちの魅力やPRした専門職人材の確保 気候変動に左右されない地域資源の研究・開発 	<ul style="list-style-type: none"> 心身に安心感を与える社会雰囲気の醸成 カーボンニュートラルの取組への挑戦 デジタル技術を活用した労働対策の強化 大規模災害を見据えた医療専門職の積極的な確保 若者の流出を食い止める新産業の創出

重点プロジェクト

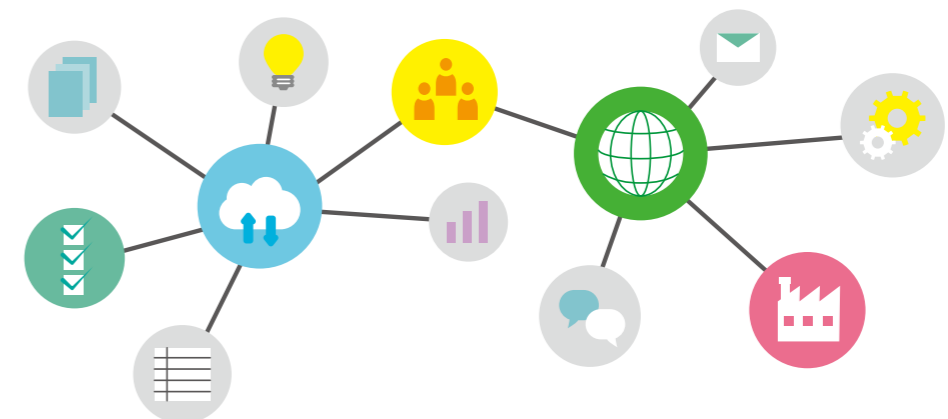
まちづくりの将来都市像の実現に向けては、6つの政策目標と基本構想の推進方針を着実かつ効果的・効率的に推進していくことが重要です。

この視点から見れば、どの施策も必要不可欠であり、すべてが重点的に取り組むべき施策と考えることも出来ますが、今後の人口減少、少子高齢化、産業活性化を見据えるとともに、「根室市公共施設ランドデザイン構想(令和6年5月策定)^{*1}」の役割の推進も含め、特に注力すべき内容を明確化することで、より加速度的な推進を図るために、次の3つを総合的・横断的に取り組むべき「重点プロジェクト」に設定します。その前段として、本市は、地域社会の発展を支えるための重要な基盤として、重点プロジェクトの実現を速めることに資するデジタル技術やDX(デジタル・トランスフォーメーション)^{*2}の実装を優先的に推進します。

デジタルで便利なまちづくり

デジタル技術やDXの実装は、3つの重点プロジェクトを横断的に支える基盤として位置付けます。デジタル技術やDXの実装は、行政サービスを効率化し透明性を高め、社会全体においても福祉・教育・防災・産業振興などの各分野の横のつながりを円滑にし隙間を作ることなく、効果的に推進するための強力な土台を構築します。

本市が有する豊かな資源や、これまで培ってきた知見、技術などのポテンシャルに、最先端のデジタル技術や分野間のデータ連携等を計画的に組み合わせることで、地域課題を解決して行きます。この取組は、本市の未来を切り拓く重要な要素となります。



^{*1} 根室市公共施設ランドデザイン構想:今後の人口減少・少子高齢化の進行等の課題解決に向け、公共施設の統廃合や再配置その後の活用など、令和27年の本市将来像を展望するために、令和6年5月に策定した構想。
^{*2} DX(デジタル・トランスフォーメーション):データやデジタル技術を使って、顧客目線で新たな価値を創出していくこと。また、そのためにビジネスモデルや企業文化等の変革に取り組むこと。

1 | こころの元気づくりプロジェクト

大人が心身ともに健康で、ゆとりを持って子どもを育てることができるよう、市民の精神衛生の安定と向上を図ることで「ウェルビーイングの向上」をめざすプロジェクトです。次代を担う子ども達が、親からの愛情を感じながら、健やかに成長できる社会の構築を目指します。

重点プロジェクトとなる主な施策

1 働き手の充実

ワークライフバランス^{*}の推進や柔軟な働き方を支援し、働く人々が仕事と家庭を両立できる環境を整備し、また、子育て世代が安定した子育てを行うための環境づくりを推進することで、子どもたちが親からの愛情を感じながら成長できる社会づくりを目指します。

2 共生社会の推進

多様な文化や背景を持つ人々が安心して暮らせるよう、多様性の受容と尊重を促進し、共生社会に対する意識醸成や社会参加、支援拡充を図ります。

3 居場所の創出

市民が安心して過ごせる「居場所」を提供し、誰もが参加できるコミュニティづくりを目指します。特に子どもが孤立感や疎外感を感じることなく、社会的なつながりを実感できる取組を進めます。

4 絆の強化・心身の充実

仲間との絆やチームワークの喜びを分かち合うスポーツ等の身体活動を奨励し、市民の心身の健康の維持・向上を目的に健康的な生活習慣の定着を目指します。

このプロジェクトを通じて、市民一人ひとりの心身が健康的に生活できる環境づくりが図られ、子どもの心身にも良い影響を与える社会を構築します。



2 | 生きるをつなぐプロジェクト

災害時の命を守る取組は当然の事、助かったあとの命をどのように支え、つないで行くかに焦点を当てたプロジェクトです。災害時の即時対応だけではなく、復旧や復興の過程においても、市民が安心して生活再建できるよう、地域全体で支え合う仕組みを構築することを目指します。

重点プロジェクトとなる主な施策

1 避難後支援ネットワークの強化

災害時における効率的かつ迅速な避難所の運営体制を整備します。災害対策本部と各避難所との瞬時の情報把握体制の構築、全庁的な職員同士の連携訓練、生活再建のための相談体制の調査研究、緊急対応のための明確なガイドラインの策定等を通じて、スムーズな避難所運営を目指します。

2 救急救命の向上と医療人材の確保

災害時のみならず日常においても、市民の命をつなぐため、救急救命体制と医療人材の確保対策を強化します。地域全体で命を支える意識を高めるための救急対応の人材育成や、市民に対する救命講習を積極的に実施し、緊急時に迅速かつ適切な救命処置が行える体制を整備するとともに、看護師を中心とした医療人材の確保対策を強化します。

3 省エネルギー・創エネルギーの推進

公共施設や避難所への太陽光発電や蓄電システムの導入により、災害時の電力供給が安定するだけでなく、日常生活におけるエネルギーコストの削減や環境負荷の軽減を図る取組を通じて、市民が脱炭素の取組を知る機会を増やし、脱炭素への意識向上も目指します。

このプロジェクトを通じて、災害時でも必要な支援やエネルギー供給が途絶えることのない都市基盤を整備します。避難所の運営体制の強化や救急救命体制の向上によって、迅速で適切な災害対応を実現し、助かった後の命をつなぐ施策を重点化します。



^{*}ワークライフバランス：働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。

3 | 地域資源Reデザインプロジェクト

地域の既存資源を再評価し、新たな価値や活用方法を見出すことで、持続可能な地域経済の成長を促進するプロジェクトです。本市の自然、文化、歴史的な資源の強みを再発見し、それらを「Reデザイン(再設計)」することで、新しい地域の魅力を創造し活用することで、産業の活性化や雇用創出を目指します。

重点プロジェクトとなる主な施策

1 資源の活用と増大

既存の資源を最大限に活かし、新たな資源を開発・育成することで、地域産業の競争力を高め、持続可能な成長を目指します。

2 地域産業と観光の連携

地域産業と観光を連携させることで、双方の相乗効果を高め、地域全体の経済を活性化させます。その他、食や特産品を観光資源として活用し、観光客の誘致と地域産業の振興を図ります。

3 雇用創出と地元定着の促進

市内での雇用機会を増やす取組を促進し、特に若者の地元定着を目指します。

4 歴史・文化の再発見と活用

地域の歴史や文化を再評価し活用することで、地域の独自性を高めます。歴史的資源や文化的遺産の背景や経緯を理解しPR活用することで、従来からある本市の魅力を内外に発信します。

5 関係人口の拡大

関係人口の拡大により、本市に多様な視点や新たな価値をもたらし、市外からの支援や知識の導入を進めることで、社会の活力の向上を後押しします。

このプロジェクトを通じて、若者の地元定着や雇用の場を拡大し、地域経済全体の活性化を図ります。さらに、地域資源の再評価や新たな価値の創造を通じて、市民と市外の方からの関心を引き寄せます。また、関係人口の拡大による市外からの支援や知識の導入を積極的に受け入れることで、地域の新たな成長を後押しします。



I

II

III

基本計画 第一章
重点プロジェクト

IV

V

施策体系



計画体系

根室市の目指す施策とSDGsの目標

基本施策	SDGs																
	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 産業化と技術革新	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な生産・消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段
政策目標1～子育て・医療・福祉 安心して健やかに暮らせるまち																	
1 少子化対策・子育て支援体制の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 子どもの成長への支援体制の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 健康づくりの推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 地域医療の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 高齢者福祉・介護の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 障がい福祉の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7 地域福祉の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8 生活自立支援	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
政策目標2～防災・都市基盤 災害に強く安心して生活できるまち																	
1 防災・減災対策の強化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 地域安全対策の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 消防・救急体制の連携充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 安全と安心を未来につなぐ水道	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 次世代へ豊かな水環境をつなぐ下水道	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 生活環境施設の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7 住環境の改善	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8 公園・緑地の環境整備の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9 道路・河川の整備と管理	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10 港湾の機能強化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11 地域交通の維持確保	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
政策目標3～教育・文化 人を育み、文化を創造するまち																	
1 家庭教育の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 義務教育の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 高等学校教育の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 社会教育の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 歴史・芸術文化・スポーツの振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
政策目標4～自然・共生 自然と調和し、うるおいを感じられるまち																	
1 カーボンニュートラルの推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 循環型社会の形成	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 環境保全の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 自然保護の推進・自然環境の利用促進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

基本施策	SDGs																
	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 産業化と技術革新	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な生産・消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段
政策目標5～地域経済 魅力あふれる地域資源を育み生かすまち																	
1 国際漁業対策	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 沿岸漁業の振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 養殖業の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 漁業の担い手対策	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 水産食料品製造業の振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 根室産水産物の消費拡大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7 農業の振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8 林業の振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9 海外との経済交流の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10 就業環境の充実	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11 商工業の振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
12 自然・歴史・食観光の振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
13 産業連携の促進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14 移住交流の促進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
政策目標6～北方領土 北方領土の復帰をめざすまち																	
1 北方領土の復帰をめざす取組の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 北方領土の復帰に向けた社会基盤の整備	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
行政運営 基本構想の推進方針																	
1 コミュニティ活動の活性化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 人権・多様性の尊重	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 男女共同参画の促進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 多文化共生の促進・国際交流、姉妹都市交流の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 開かれた市政運営と市民協働	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 シティプロモーションの推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7 計画的で持続可能な財政運営	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8 デジタル基盤整備	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9 人材の育成・確保	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●